

雇用促進・就労定着プロジェクト 全体会報告

令和3年2月2日（火）発行

今年度の方向性と就労系福祉サービスからの要望が多い「仕事の魅力発見フェス」開催について

雇用促進・就労定着
Project



1月22日全体会開催

コロナの感染拡大により、プロジェクト企業も、日頃の業務に加え、感染予防への活動が高まっている状況です。今回はリモートでの全体会とグループワークを組み合わせ、議論を交わしました。

12月に予定していた学習会を見送り、12月24日に4役会を行い、その内容をプロジェクトメンバー全体で協議するために会を開催しました。顔を合わせて話し、関係性を築いてきたプロジェクトですが、全体会での初のリモート会議となりました。当日は14社15名のメンバーが参加しました。



全体会での情報共有事項

話し合われたのは、主に下記の5点です

①コロナ感染拡大による各企業の状況	感染状況のひっ迫により、外部への訪問を控えている。各企業「見学・実習」の受け入れは難しい状況である。状況が改善次第、求職者への就職に向かうためのモチベーションに関わる取り組みを行いたい。
②障がい者雇用の状況について	外部との接点を持ちづらく、定期的定着支援研修会の開催が見送られていることもあり、モチベーションの低下が見られる。業務内容の減少により、仕事内容の見直しが必要になった事例もある。消毒作業などの仕事が増えたが、頑張っている。
③プロジェクト企業内の学習会について	集合研修は年度内中止。しかし、日々の関わりや労務管理を行うものとして、学びは進めていきたい。テーマを周知し、学びたい人が集まるような方法で続けていく。
④プロジェクトの今後について	ホームページ等を活用しプロジェクトの活動をもっと知ってもらえるようにできないか。企業情報、見学・実習の受け入れなど、随時発信できるのでは。活動を何かの「形」にしていくためにフェスの取り組みはやりがい
⑤仕事の魅力発見フェスについて	「見学・体験」を受け入れられない状況の中、間接的でも情報を発信する機会は持ち続けたい。働いている方が発表することでモチベーションの維持・向上にも繋がる。

「仕事の魅力発見フェス」 リモートバージョン準備中です

昨年好評を博した「仕事の魅力発見フェス」をリモートバージョンで開催します。福祉サービス事業所の就労支援プログラムの一環で活用していただきやすいように、日数を分け、開催時間を短くしてお届けします。お楽しみに！！

10月以来の全体会のため、リモートであっても顔を合わせることでできた安心感と、次に進むことができた感覚を持てた会になりました。コロナによる活動の制限がおよそ1年間続いている状況において、雇用されている方の不安やストレスが高くなっているという話を受け、当センターとしても手だてを打たなければいけないと強く感じました。コロナだからできないではなく「コロナだからバージョンアップする」という考えを持ち、我々の予想を超えるアイデアに、プロジェクトの皆さんの意欲を感じる時間となりました。企業と求職者・福祉サービスのコーディネートを行う役割として、より効果的な方法・WINWINな関係性を持てる取り組みを検討していきたいと思っています。

メンバー企業の自社で雇用している方のフォローにとどまらない、障がいのある方に対する就職へのバックアップの気持ちは、仕事の魅力発見フェスという形で皆さんにお届けいたします。準備が整い次第ご案内いたしますので、続報をお待ちください。